

問1 日本の裁判制度において、裁判を慎重に行うことで人権を保護し、裁判の誤りを防ぐことを目的とした仕組みについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)

1. 国民が裁判官と共に審理に参加する裁判員制度により、すべての裁判が2回で終了する仕組みとなっている。
2. 一度判決が確定した事件について、新たな証拠が見つかった場合にのみ4回目の裁判を行う四審制が基本である。
3. 一つの事件について、上級の裁判所へ合計3回まで裁判を請求できる三審制が採用されている。
4. 裁判の効率を上げるため、重大な事件であっても1回の裁判で判決を確定させる一審制が原則である。

問2 1950年代半ばから始まった高度経済成長の結果、1968年に日本の国民総生産（GNP）は、当時の資本主義諸国の中で第何位になりましたか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)

1. 第3位
2. 第5位
3. 第2位
4. 第1位

問3 インターネットなどの情報化が進化した現代社会において、自由権に基づき個人の意見を表明したり情報発信を行ったりする際、特に両立させることが求められている配慮として適切なものはどれか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)

1. インターネット上での情報発信を、選挙権を持つ者に限定すること
2. 国家の安全を第一に考え、公の場での発信をすべて事前検閲すること
3. 他人の名誉毀損やプライバシー侵害を防ぎ、他者の人権を尊重すること
4. 個人の自由は絶対的であるため、どのような内容であっても責任を負わないこと

問4 日本の政治制度において、衆議院が解散され、衆議院議員総選挙が行われた日から30日以内に召集される国会を何と呼びますか。2017年の事例では、10月22日の総選挙のあと、11月1日に召集されています。 (2022年 福岡県公立入試 類似)

1. 常会（通常国会）
2. 特別会（特別国会）
3. 臨時会（臨時国会）
4. 参議院の緊急集会

問5 東北地方の宮城県や九州地方の福岡県へ向かう高速バスの年間輸送数を確認すると、周辺の県へ向かう路線に比べて非常に多く、150万人を超えるような路線も存在します。このように、特定の都市に向けて交通網が集中し、多くの人々が移動する背景として最も適切な理由はどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)

1. 地方中枢都市に企業の支店や行政機関などの管理機能が集積しているため
2. 過疎化が進んだ周辺自治体から全ての住民が移住を続けているため
3. 周辺の県には鉄道や道路が整備されておらず、高速バス以外の交通手段がないため
4. 周辺の県に比べて面積が広大であり、県内移動に時間がかかるため

問6 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)

1. 単位面積あたりの農業従事者数と、一人あたりの肥料使用量
2. 総農家数に占める兼業農家の割合と、一人あたりの労働時間
3. 農業従事者一人あたりの農薬使用量と、一人あたりのビニールハウスの面積
4. 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数

問7 輸出統計において、原油が輸出額の32.8%を占める国や、金が36.8%を占める国のように、一次産品の輸出割合が大きい国々の経済状況について、その背景と課題をまとめたものとして正しいものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)

1. 国内の人口減少により労働力が不足しているため、加工が必要な工業製品ではなく、自然界から採取したままの原料や燃料を輸出する方針をとっている。
2. 情報通信技術（ICT）の発展により、原材料の国際的な需要が急増したため、あえて工業化を止めて資源の輸出に専念することで急速な経済成長を遂げている。
3. 先進国からの技術援助を拒否し、自国の伝統的な産業である鉱業や農業のみを維持することを国家の基本方針としているため。
4. かつての植民地支配などの歴史的背景から特定の資源の生産が優先され、製品を製造する工業化が遅れているため、付加価値の低い原料の輸出が中心となっている。

問8 アメリカ合衆国と日本の農業統計を比較すると、アメリカ合衆国は日本に比べて農業従事者数が極めて少ない一方で、耕地面積と穀物生産量が圧倒的に多いという特徴があります。このような、少ない労働力で広大な土地を経営する農業のあり方を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)

1. 多くの労働力を投入し、狭い土地から最大限の収穫を得るためのきめ細かな作業を行っている。
2. 伝統的な農具を使用し、自然の降水のみに頼った環境負荷の低い小規模な生産を続けている。
3. 一つの耕地で異なる種類の作物を時期をずらして栽培し、土地を休ませることなく活用している。
4. 大型の機械を導入することで、一人あたりの耕地面積を広くし、効率的に大量の穀物を生産している。

問9 日本の気候区分のうち、冬に大陸から吹く北西の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、奥羽山脈などの山々にぶつかすることで、12月や1月の冬期に多量の雪や雨をもたらす特徴を持つ気候は何ですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)

1. 日本海側の気候
2. 太平洋側の気候
3. 中央高地の気候
4. 瀬戸内の気候

問10 ある地域で、地元の農家が協力して農業の活性化を目指すプロジェクトを立ち上げました。この取り組みが「6次産業化」の具体例として当てはまるものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)

1. 収穫した野菜をすべて卸売市場に出荷し、その後の流通や加工については関与せずに次の作物の生産に集中する
2. 自分たちで育てた新鮮な果実を原料にしてジャムやジュースを作り、直営の店舗や農家レストランで消費者に提供する
3. 品質を一定に保つため、地域外の工場から仕入れた加工済みの果実を地域のイベント会場で代理販売する
4. 生産コストを削減するために、農地の管理を大規模な農業法人にすべて任せ、自分たちは別の仕事に従事する

問11 日本の製造業における海外生産比率は、1985年の8.7%から2010年には31.9%へと大幅に上昇しました。このように、円高などの影響で工場が海外へ移転した結果、日本国内の製造業が衰退し、雇用機会が失われるなどの問題が生じることを何と呼びますか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)

1. 情報の非対称性
2. 経済のサービス化
3. ドーナツ化現象
4. 産業の空洞化

問12 文明開化の時期における生活様式の変化について、具体的な事例として正しい組み合わせはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)

1. 仮名文字の使用や、寝殿造の建築、大和絵の制作
2. 千利休による茶の湯の完成や、豪華な城郭建築の発達
3. 仏教の保護と、大規模な寺院建立による国家の安定の祈願
4. 太陽暦の採用や、洋服・洋食などの西洋風の生活の普及

答え合わせ・解説

問1	答え 3 一つの事件について、上級の裁判所へ合計3回まで裁判を請求できる三審制が採用されている。	裁判官も人間である以上、判断を誤る可能性があるため、日本の裁判制度では慎重を期して「三審制」がとられています。これにより、第一審の判決に不服がある場合は上級の裁判所に訴えることができ、慎重な審理を通じて人権を守る仕組みが整えられています。
問2	答え 3 第2位	1960年代の日本は、重化学工業を中心とした技術革新と積極的な設備投資により、年平均10%を超える高い経済成長率を維持しました。その結果、1968年には国民総生産（GNP）でアメリカ合衆国に次ぐ世界第2位（資本主義諸国の中での順位）となり、経済大国としての地位を確立しました。
問3	答え 3 他人の名誉毀損やプライバシー侵害を防ぎ、他者の人権を尊重すること	自由権の一つである表現の自由は重要な権利ですが、無制限に認められるものではありません。特にインターネット上では、自分の発信が他人のプライバシーを侵害したり、名誉を傷つけたりする危険性があります。そのため、自分の意見を表明する自由と、他人の人権を守ることの調和が現代社会における重要な課題となっています。
問4	答え 2 特別会（特別国会）	衆議院の解散に伴う総選挙のあとに開かれる国会を特別会と呼びます。日本国憲法により、総選挙の日から30日以内に召集することが義務付けられています。毎年1月に召集される常会や、内閣が必要と認めた際などに召集される臨時会とは召集の時期や理由が異なります。
問5	答え 1 地方中枢都市に企業の支店や行政機関などの管理機能が集積しているため	宮城県や福岡県のような地方中枢都市には、国の出先機関や大手企業の支店といった「都市機能（管理機能）」が集約されています。そのため、周辺の県から仕事や買い物、行政手続きなどの目的で多くの人が訪れることになり、結果として高速バスなどの交通網がこれらの都市を中心に放射状に発達します。
問6	答え 4 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数	北海道は明治時代以降の開拓の歴史から、農家一戸あたりの経営規模が他の都府県に比べて非常に大きいという特徴があります。広大な農地を少人数で効率よく耕作するために、トラクターなどの大型機械を積極的に導入した結果、一人あたりの耕地面積およびトラクター保有台数の両項目において、全国平均を大きく上回る統計値を示しています。
問7	答え 4 かつての植民地支配などの歴史的背景から特定の資源の生産が優先され、製品を製造する工業化が遅れているため、付加価値の低い原料の輸出が中心となっている。	多くの発展途上国が原料や燃料の輸出に依存している背景には、植民地時代に宗主国の必要とする資源や農作物の供給地とされた歴史があります。独立後も、自国で製品を組み立てる工場や技術が不足しているため、採掘・採取したままの「一次産品」を輸出せざるを得ません。原料そのものは加工品に比べて付加価値が低いため、経済的な自立を妨げる要因の一つとなっています。
問8	答え 4 大型の機械を導入することで、一人あたりの耕地面積を広くし、効率的に大量の穀物を生産している。	アメリカ合衆国の農業は、広大な国土を活かした「企業的農業」が主流です。トラクターやコンバインといった大型機械を駆使することで、農家一人あたりの管理面積を極限まで広げています。これにより、日本のような労働集約的な農業（面積あたりの手間をかける農業）とは対照的に、高い労働生産性を実現し、世界最大の農産物輸出国としての地位を築いています。
問9	答え 1 日本海側の気候	冬の季節、大陸から吹き出す冷たく乾燥した北西の季節風は、暖流が流れる日本海の上空を通過する際に水蒸気を大量に吸収します。これが日本列島の中央を走る山脈に突き当たることで、日本海側の地域に世界的に見ても稀なほどの豪雪や雨をもたらします。そのため、年間の降水量が2700mmを超える地点も存在し、雨温図では1月や12月のグラフが非常に高くなるという特徴があります。
問10	答え 2 自分たちで育てた新鮮な果実を原料にしてジャムやジュースを作り、直営の店舗や農家レストランで消費者に提供する	6次産業化とは、生産者自らが「加工」や「販売・サービス」まで手がけることを指します。農家が自ら育てたものを加工して付加価値を高め、直営店やレストランを通じて直接消費者に届けることは、生産（1）×加工（2）×販売（3）を掛け合わせて相乗効果を生み出す、6次産業化の典型的な成功事例です。
問11	答え 4 産業の空洞化	円高への対策として企業が生産拠点を海外へ移すと、国内の工場が閉鎖されたり、関連する中小企業の受注が減ったりします。このように、国内の産業基盤が失われ、地域経済や雇用に悪影響を及ぼす現象を「産業の空洞化」と呼び、日本の工業における重要な課題となっています。
問12	答え 4 太陽暦の採用や、洋服・洋食などの西洋風の生活の普及	明治政府は、欧米諸国と基準を合わせるために旧暦（太陰太陽暦）を廃止して太陽暦を採用しました。また、都市部を中心に洋服の着用や牛鍋（すき焼きの原型）を食べる習慣が広まるなど、日常生活のあらゆる場面で西洋の影響が見られるようになりました。他の選択肢は、平安時代や安土桃山時代などの異なる時代の特徴です。